

学校の概要		学校名	茅野市	立豊平小	学校	学校長	宮坂 均	児童生徒数	211 名						
「地域と共にある学校づくり」へ向けた仕組について															
学校運営に必要な支援に係る協議の場					ボランティアの組織化(地域学校協働本部)について										
運営委員会(信州型コミュニティスクール)		会議の委員構成			○ ボランティアのリストがある										
		市町村教委		自治会代表		○ ボランティアの団体がある(組織化されている)									
学校運営協議会(コミュニティ・スクール)		公民館代表		PTA代表		○ ボランティアと学校の情報交換会がある									
		地域コーディネーターや地域学校協働活動推進員		学校長・教頭以外の学校職員		○ ボランティアの方を対象とした研修会がある									
名称		[その他の委員]※具体的な役職名を記入			学校と協働する様々な団体や地域との連携調整を行うコーディネーター等が学校職員以外にいますか(それぞれ的人数を記入)		地域コーディネーター			2 人					
		<ul style="list-style-type: none"> ・区長 ・育成会長 ・民生児童委員 ・歴代PTA役員 ・PTA担当職員 			地域学校協働活動推進員(教育委員会の委嘱を受けた者)		0 人								
会議開催数(予定)		5 回	今年度開催日		4月22日(コロナ対応で中止) 6月21日(学校評議員会と合同開催) 9月9日(コロナ対応で中止) 12月14日 2月24日		中心的なコーディネーターの立場(リストより選択)		地域住民						
					具体的な役割(その他を選択した場合は立場・役職を記入)		前コミュニティセンター所長								
運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況															
学校教育目標		「よく考えて めあてをもってひとり歩きのできる子ども」 こたわろう ふんばろう いたわりあおう ひびきあおう													
地域と共有された育てたい子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・「ひと」「こと」「もの」から地域に学び、ふるさと豊平への誇りと愛着のもてる子ども ・自分のめあてに向けて粘り強く取り組み、のり越えていくたくましい子ども ・友達の話に耳を傾け、友達の気持ちに寄り添う心優しい子ども ・毎日、元気に登校し、進んであいさつする子ども 													
運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度)					地域と協働した活動状況										
1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について		○			1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」が共有されている。		○								
2 学校運営への必要な支援について		○			2 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有できている。		○								
3 地域の実情や課題について		○			3 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。(専用の部屋や他の目的で使用する部屋との兼用でも可)		○								
4 子どもにどんな地域貢献ができるかについて		○			4 協働活動に参加したボランティアの人数		ボランティア登録者人数		約100 人						
5 教職員の任用に関する一般的な要望について		○			参加者延べ人数		約200人 人								
地域学校協働活動の概要		登下校の見守り		○	読み聞かせ		○	児童会、生徒会		クラブ、部活動	○	給食		休み時間	
		清掃			ICT		○	学習ボランティア		総合的な学習の時間支援	○	コロナウイルス対策の消毒・清掃		放課後教科・体験学習	
		土日・長期休業教科・体験学習		地域の伝統文化の継承に係る活動		○	子ども食堂(子どもカフェ)との連携		防災学習(避難訓練)		遠足・登山		○	キャリア教育(職場体験を含む)	
		人権教育		国際理解			託児								
学校・家庭・地域の協働した取組例								将棋オセロクラブ(7月5日)		オオムラサキの飼育活動(7月13日)		地域探検(10月20日)			
		代表的な協働した活動の取組例													
		(上の写真の3つの取り組みの中から1つの活動を選択し、活動の内容を教えてください)													
○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)															
学校運営委員の環境部会部員の方に協力いただき、オオムラサキ(蝶)の飼育について教えていただいたり、通年を通して学校のオオムラサキ飼育小屋の中のおオオムラサキの世話をさせていただいている。															
7月には、3年生にオオムラサキの生育について教室で教えていただいたり、実際に飼育小屋で実物を見て、今はどういう状態なのか、今後どのような世話をしていけば良いのかを教えていただいている。															
興味を持った3年生児童数名は、地域で行っているオオムラサキの観察会に出かけていくなど、興味関心の幅が広がっている。															
また、オオムラサキの成長を楽しみにし、様子を日々気にする姿が増えている。															
育てたい子どもの姿を具現化するための学校・家庭・地域の連携・協働を推進する上での課題															
(運営上の課題を記入 例 人材確保について、打ち合わせや会議について等)															
コロナ禍の影響もあり、会議を予定していても参集できないため、全体に周知されにくいところがあるが、地域の方が温かく見守ってくださっており、大変ありがたい。															